

非常変災時の対応について 2

岐阜県立大垣桜高等学校

3 落雷事故の防止

- (1) 空模様に注意し、雷鳴や雷光を確認したら、屋内へ避難する。雷鳴・雷光がなくなり 20 分以上経過するまで屋外へは出ない。
- (2) 安全な避難場所は、鉄筋コンクリートの建物、戸建住宅、バス及び自動車の車内である。

4 竜巻や突風の避難行動

- (1) 屋内では、窓やカーテンを閉め、窓、部屋の隅や外壁から離れる。頑丈な机の下に入り、両腕で頭と首を守る。
- (2) 屋外では、屋根瓦などの飛来物に注意しながら、建物に避難できないときは物陰やくぼみに身を伏せる。

5 全国瞬時警報システム(Jアラート)発表時

この地域に北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における Jアラートによる情報伝達があった場合は、下記の通り国の対応指針に従って身を守る行動をとってください。

Jアラート

(例) 直ちに避難。直ちに避難。頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。



メッセージが流れたら落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合・・・できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
- 建物がない場合・・・物陰に身を隠すか、地面に伏せて東部を守る。
- 屋内にいる場合・・・窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くにミサイルが落下した場合

- 屋外にいる場合・・・口と鼻をハンカチで覆い、現場から田立に離れ、密閉性の高い屋内または屋上へ避難する。
- 屋内にいる場合・・・換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

その後、以下の通りこの地域及び学校の安全が確保されたと判断した場合に学校を再開（開始）しますので、Jアラートの続報、TVやラジオによる報道や行政の情報をよく聞いて行動してください。

・ ミサイルが日本の領土・領海の上空を通過した、または日本の領海外の海域に落下したとの情報伝達があった場合。

・ ミサイルが日本の領土・領海内に落下したとの可能性があるとの情報伝達の続報により、屋内避難を解除するような情報伝達があった場合。

学校から一斉メールが配信される場合がありますので、よく注意してください。